



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 山洋電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 6516 URL <http://www.sanyodenki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 茂生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理担当 (氏名) 塚田 明

TEL 03-3917-5151

四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	53,825	6.1	3,804	△6.1	3,747	0.4	3,242	6.9
23年3月期第3四半期	50,746	84.6	4,053	—	3,732	—	3,032	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,689百万円 (13.8%) 23年3月期第3四半期 2,364百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	52.18	—
23年3月期第3四半期	48.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	71,575	37,550	51.7
23年3月期	74,395	35,609	47.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 36,993百万円 23年3月期 35,093百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	△0.4	4,000	△29.6	4,000	△26.5	3,400	△24.7	54.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	64,860,935 株	23年3月期	64,860,935 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	2,725,736 株	23年3月期	2,721,074 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	62,137,099 株	23年3月期3Q	62,147,800 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業務予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災後の落ち込みから回復する兆しが見られましたが、欧州債務問題の再燃や急速な円高の進行、中国の金融引き締め政策などの影響によって、依然として不透明な状況が続いています。

そのような中で、当社グループの主要な販売市場である工作機械・ロボット・半導体製造装置などの設備産業業界において需要の急激な落ち込みがありました。

その結果、当期間における連結売上高は53,825百万円（前年同期比6.1%増）となり、連結営業利益は3,804百万円（前年同期比6.1%減）、連結経常利益は3,747百万円（前年同期比0.4%増）、連結四半期純利益は3,242百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

受注高は52,862百万円（前年同期比3.1%減）、受注残高は12,195百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①日本

日本には、当社および連結子会社の山洋工業株式会社、山洋電気テクノサービス株式会社があります。セグメント売上高は51,513百万円（前年同期比1.1%減）となり、セグメント利益は2,347百万円（前年同期比24.0%減）となりました。

②北米

北米には、連結子会社のSANYO DENKI AMERICA, INC.があります。セグメント売上高は4,269百万円（前年同期比11.6%減）となり、セグメント利益は251百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

③ヨーロッパ

ヨーロッパには、連結子会社のSANYO DENKI EUROPE S.A.およびSANYO DENKI GERMANY GmbHがあります。セグメント売上高は2,703百万円（前年同期比19.7%増）となり、セグメント利益は205百万円（前年同期比55.5%増）となりました。

④東アジア

東アジアには、連結子会社の山洋電気（上海）貿易有限公司、山洋電気（香港）有限公司、台湾山洋電気股份有限公司、SANYO DENKI KOREA CO., LTD.ならびに山洋電気テクノサービス株式会社の子会社である山洋電気精密機器維修（深圳）有限公司、および山洋電気（香港）有限公司の子会社である山洋電気貿易（深圳）有限公司、中山市山洋電気有限公司があります。セグメント売上高は8,575百万円（前年同期比30.0%増）となり、セグメント利益は427百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

⑤東南アジア

東南アジアには、連結子会社のSANYO DENKI PHILIPPINES, INC., SANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD.および山洋電気テクノサービス株式会社の子会社であるSANYO DENKI Techno Service (Singapore) PTE. LTD.およびSANYO DENKI SINGAPORE PTE. LTD.の子会社であるSANYO DENKI (THAILAND) CO., LTD.があります。セグメント売上高は7,858百万円（前年同期比1.1%増）となり、セグメント利益は411百万円（前年同期比64.5%増）となりました。

また、事業部門別の営業概況は次のとおりです。

①クーリングシステム事業

クーリングシステム製品「San Ace」は、太陽光発電、燃料電池、電気自動車用急速充電器、画像表示装置向けに多くの需要がありました。

従来からの大口市場であったサーバ業界向けの需要は、国内、海外とも堅調に推移しましたが、ファクトリーオートメーション業界、通信業界は国内外ともに需要が低迷しました。

その結果、売上高は12,887百万円（前年同期比0.4%増）、受注高12,431百万円（前年同期比6.1%減）、受注残高1,756百万円（前年同期比15.3%減）となりました。

②パワーシステム事業

パワーシステム製品「SANUPS」は、東日本大震災後の防災用として、エンジン発電機は第2四半期から引き続き多くの需要がありました。通信業界向け無停電電源装置と公共事業向け太陽光発電向けパワーコンディショナの需要は堅調でした。保守サービスビジネスは好調に推移しました。

その結果、売上高は6,878百万円(前年同期比8.6%増)、受注高7,743百万円(前年同期比6.6%増)、受注残高2,987百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

③サーボシステム事業

サーボシステム製品「SANMOTION」は、中国の金融引き締め政策の影響で、工作機械、産業用ロボット、射出成形機、チップマウンタなどの各業界で需要が急激に減少しました。

その結果、売上高は28,538百万円(前年同期比7.3%増)、受注高26,917百万円(前年同期比7.1%減)、受注残高4,931百万円(前年同期比28.9%減)となりました。

④電気機器販売事業

産業用電機機器、制御機器および電機材料の販売は、産業機器・半導体関連の需要が落ち込んだものの、医療機器関係は堅調に推移しました。また、新エネルギー関連の引き合いが増加しました。

その結果、売上高は3,857百万円(前年同期比4.4%増)、受注高4,017百万円(前年同期比4.7%増)、受注残高2,157百万円(前年同期比48.2%減)となりました。

⑤電気工事事業

主要事業分野の製鉄プラント設備、電機設備の工事は、震災復興の応急工事が一段落しました。プラント設備の更新工事は、円高などによる減産の影響で延伸になる案件がでてきました。

その結果、売上高は1,662百万円(前年同期比28.6%増)、受注高1,750百万円(前年同期比38.3%増)、受注残高362百万円(前年同期比20.6%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産で2,820百万円、負債で4,761百万円それぞれ減少し、純資産では1,941百万円の増加となりました。

総資産の主な変動要因は、現金及び預金の増加1,272百万円、商品及び製品の増加1,199百万円、受取手形及び売掛金の減少3,301百万円によるものです。

負債の主な変動要因は、支払手形及び買掛金の減少2,031百万円、短期借入金の減少2,862百万円、環境対策引当金の減少456百万円によるものです。

純資産の主な増加要因は、利益剰余金の増加2,496百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成24年1月27日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,083	10,356
受取手形及び売掛金	23,128	19,826
有価証券	189	85
商品及び製品	3,705	4,905
仕掛品	3,911	3,522
原材料及び貯蔵品	5,886	6,196
未成工事支出金	125	144
未収入金	726	995
繰延税金資産	914	680
その他	377	486
貸倒引当金	△32	△29
流動資産合計	48,017	47,168
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,121	8,593
機械装置及び運搬具（純額）	3,131	2,649
土地	6,368	6,364
建設仮勘定	597	360
その他（純額）	634	732
有形固定資産合計	19,854	18,699
無形固定資産	509	506
投資その他の資産		
投資有価証券	3,955	3,099
繰延税金資産	1	1
その他	2,086	2,128
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	6,014	5,200
固定資産合計	26,378	24,406
資産合計	74,395	71,575

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,146	12,115
短期借入金	12,790	9,927
未払法人税等	337	535
繰延税金負債	0	—
役員賞与引当金	60	45
環境対策引当金	636	179
その他	3,988	4,670
流動負債合計	31,959	27,474
固定負債		
長期借入金	3,994	3,657
リース債務	42	474
退職給付引当金	555	670
繰延税金負債	272	143
再評価に係る繰延税金負債	1,119	977
負ののれん	68	—
その他	773	626
固定負債合計	6,826	6,550
負債合計	38,786	34,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,926	9,926
資本剰余金	11,460	11,460
利益剰余金	15,161	17,657
自己株式	△893	△896
株主資本合計	35,654	38,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191	△214
土地再評価差額金	657	799
為替換算調整勘定	△1,410	△1,740
その他の包括利益累計額合計	△561	△1,155
少数株主持分	515	557
純資産合計	35,609	37,550
負債純資産合計	74,395	71,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	50,746	53,825
売上原価	39,718	42,994
売上総利益	11,027	10,830
販売費及び一般管理費	6,973	7,025
営業利益	4,053	3,804
営業外収益		
受取利息	23	29
受取配当金	72	82
助成金収入	15	101
負ののれん償却額	205	68
その他	76	98
営業外収益合計	394	380
営業外費用		
支払利息	118	102
為替差損	529	318
その他	67	18
営業外費用合計	715	438
経常利益	3,732	3,747
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	0	—
受取補償金	506	885
その他	0	—
特別利益合計	507	885
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	21	5
投資有価証券評価損	4	250
クレーム対策関連費用	261	—
役員退職慰労金	—	4
環境対策費	817	—
その他	19	—
特別損失合計	1,124	259
税金等調整前四半期純利益	3,115	4,373
法人税、住民税及び事業税	397	777
法人税等調整額	△385	278
法人税等合計	11	1,055
少数株主損益調整前四半期純利益	3,103	3,318
少数株主利益	71	76
四半期純利益	3,032	3,242

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,103	3,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193	△406
土地再評価差額金	—	141
為替換算調整勘定	△545	△364
その他の包括利益合計	△738	△628
四半期包括利益	2,364	2,689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,347	2,648
少数株主に係る四半期包括利益	17	41

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	38,354	4,799	2,235	4,856	501	50,746
セグメント間の内部売上高または振替高	13,728	31	23	1,740	7,273	22,796
計	52,082	4,830	2,258	6,596	7,774	73,542
セグメント利益	3,090	225	131	424	250	4,121

2. 報告セグメントの利益または損失の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,121
セグメント間取引消去	△68
四半期連結損益計算書の営業利益	4,053

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	日本	北米	ヨーロッパ	東アジア	東南アジア	計
売上高						
外部顧客への売上高	40,060	4,221	2,686	6,296	559	53,825
セグメント間の内部売上高または振替高	11,452	47	16	2,279	7,299	21,094
計	51,513	4,269	2,703	8,575	7,858	74,919
セグメント利益	2,347	251	205	427	411	3,642

2. 報告セグメントの利益または損失の金額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	3,642
セグメント間取引消去	162
四半期連結損益計算書の営業利益	3,804

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。